

文化情報学部短期留学プログラムの紹介 「体験型教養科目／トピックス（海外研修）」

I. プログラムの概要

ニューオーリンズ大学

① プログラム名：

Doshisha Open-Doors Program: Exploring New Orleans Culture

② 実施趣旨：

本プログラムは、文化情報学部の専門科目C群「体験型教養科目（海外研修）／トピックス（海外研修）」として開講されます。アメリカ南部のルイジアナ州ニューオーリンズ市にて、ニューオーリンズ大学国際教育部との学部間協定に基づく、2週間の異文化体験＋語学研修プログラムを実施するものです。



③ ニューオーリンズ市およびニューオーリンズ大学の紹介：



アメリカ南西部のルイジアナ州最大の都市であるニューオーリンズ市は、ジャズの発祥地であり、クレオール（ケイジャン）料理としても有名です。この街に位置するニューオーリンズ大学は 1956 年創立の州立大学です。大学のキャンパスは市内の高級住宅地に隣接し、近くに湖があるなど恵まれた環境の中でプログラムを実施します。

④ 実施期間：

2021 年 2 月 28 日（日）～3 月 14 日（日）翌日帰国

⑤ プログラム内容：

実施期間中の各日、午前にスピーキングとリスニング能力養成のための語学研修プログラムを、午後にゲストレクチャーや近隣の文化施設などのフィールドトリップなどを中心としたプログラムを実施します。

⑥ 参加資格：文化情報学部生（1 年次～3 年次生）

⑦ 参加条件：

- アメリカの文化や社会に強い興味を有する文化情報学部所属の学生。
- 2020 年度秋学期に「集中制」で開講するため、上記④実施期間中にプログラム参加ができる者。
- 英語の語学能力要件は要求しませんが、2020 年 10 月末までに学内で実施される TOEFL ITP の受験およびスコアの提出を求め、5 月に行われる学部教員との英語による面接を義務づけます。

なお、2020 年度に実施される TOEFL-ITP 試験情報については、国際課オリジナルページである以下のサイトを確認・参照して下さい。http://international.doshisha.ac.jp/study_abroad/toefl_itp/toefl_itp.htm また、TOEFL-ITP 試験受験には、文化情報学会より補助（1 回 1, 000 円補助で、年間 2 回まで申請可）が出ますので、事務室で所定の手続きを行って下さい。<http://www.bunkajoho.org/event/shikaku.pdf>

⑧募集人数：

16名～26名（希望者が募集上限人数を超えた場合は、面接結果などを総合的に判断して参加者を決定しますが、最低募集人数を希望者が下回った場合は、休講となることがあります。）

⑨単位：秋学期科目として2単位

⑩引率：文化情報学部専任教員

⑪参加費：

577,400円（過年度実績）

【内訳】プログラム参加費（353,400円）＋渡航費（224,000円；燃油サーチャージ料など込み）＋保険料

Ⅱ. 説明会：

《ニューオリンズプログラム説明会》※事前申し込み必要

2020年7月7日（火）、7月10日（金）いずれかにご参加ください。

＜場所＞オンライン（Zoom） ＜時間＞12：20～13：00

Ⅲ. プログラムに関する問い合わせ先：

文化情報学部事務室（夢告館1階）

電話：0774-65-7610 メール：jt-bnkjm@mail.doshisha.ac.jp

